Marshall

Broadcast A/V Division

ML-702-V2

デュアル 7型 3RUラックマウントモニター



取扱説明書

Marshall

目　次

製品の説明 2

メニュー設定 6

仕様 12

付属品 12

トラブルシューティング 12

PC Set Remote Terminal アプリケーション 13

保証 13

重要な安全上の注意事項

- 製品をご使用になる前に、取扱説明書（本書）を必ずお読みください。
- 本書は、今後の参考のために保管してください。
- 部品の故障や劣化を防ぐため、以下の注意事項をお読みください。

注　意

- LCD 画面に傷がつかないように、モニターを仰向けに置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 本製品の清掃には化学薬品を使用しないでください。
  表面の明るさを保つには、清潔で柔らかい布で拭いてください。
- 通気孔を塞がないでください。
  本製品の下に熱を発生する機器を設置する場合はご注意ください。
- 製品の調整については、以下の手順とマニュアルのトラブルシューティングセクション（12 ページ）を参照してください。内部の調整や修理は、Marshall Electronics のみが行う必要があります。

製品の説明

フロントパネルの機能



1. **傾斜機能付きラックマウントイヤー**

   モニターを傾けて視認性を高めたり、通気性を向上させたりできます。

2. **ヘッドホンジャック** 標準の3.5mmステレオミニプラグに対応しています。

3. **電源ボタン** スタンバイ時は赤、動作時は緑に点灯します。

4. **入力選択ボタン** SDI、HDMI、ビデオを順に切り替えます。

5. **F1～F4 ユーザー定義ショートカットボタン** 選択時に点灯。

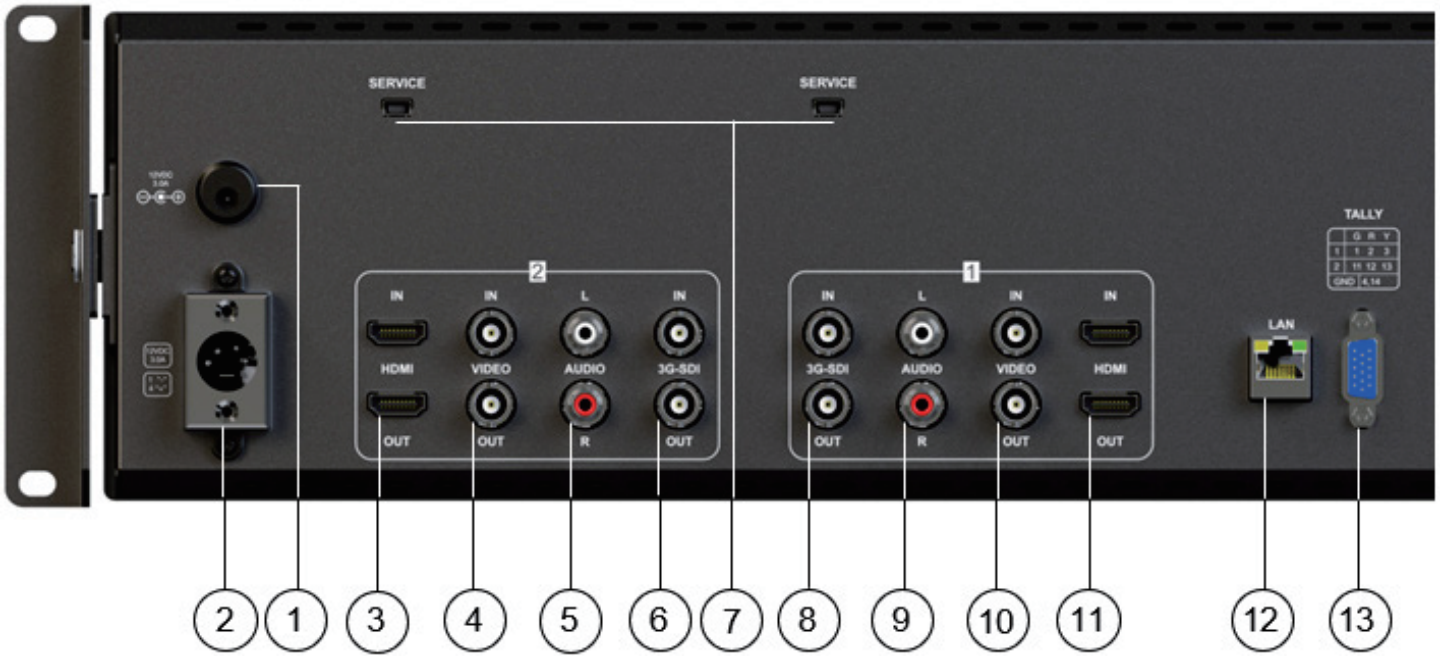
   ショートカット：[SETTING]メニューページにアクセスし、ユーザー定義機能を設定します。

6. **メニューノブ** 押さずに回すとヘッドホンの音量を調整できます。

   押すとメニューシステムが表示されます。

製品の説明

バックパネルの機能



注：電源、TALLY、LANは両方の画面に適用されます。入力とUSBサービスポートは各画面に個別に適用されます。

1. プッシュオン電源コネクタ

POWER+12V



12V DC電源入力 5.5mm x 2.1mm プッシュオンコネクタ

付属のDC電源アダプターをここに差し込みます。（センターピンは+です）

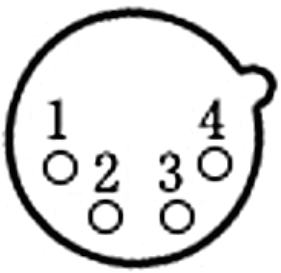
重要: 本モニターには、一度に 1 種類の電源のみを接続してください。

2. 4 ピン電源コネクタ

4 ピン XLR DC 電源入力は、一般的な放送用テレビカメラの 12ボルト電源と互換性があります。

注意：一部の 4ピン電源は 24ボルトを供給しますが、これらは本モニターには対応していません。接続する前に、電源のラベルをご確認ください。

重要：本モニターには、一度に1種類の電源のみを接続してください。



ピン番号	信号
1	GND
2	No connection
3	No connection
4	+12V

3, 11. HDMIデジタルビデオコネクタ



HDMI入力とループ出力。埋め込まれたオーディオはヘッドフォンジャックでモニタリングでき、画面上で視覚的に確認できます。



4, 10. 複合アナログコネクタ

ビデオ入力およびループ出力。
NTSCまたはPALコンポジット（CVBS）ビデオソースに使用します。



5, 9. アナログRCAコネクタ

左右のオーディオ入力。
これらのオーディオ入力は、ソースとしてビデオが選択されている場合にのみ有効です。
このオーディオはヘッドフォンジャックでモニターできます。



6, 8. シリアルデジタル “BNC”コネクタ

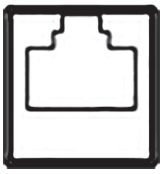
SDI入力とループ出力。
SDI、HD SDI、3G SDI入力に対応。
エンベデッドオーディオはヘッドフォンジャックでモニタリングでき、画面上でも確認できます。

7. USBサービスポート



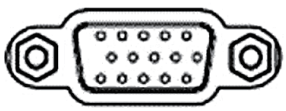
USB 入力 (プログラムのアップグレードと LUT のロードにのみ使用されます)。

12. イーサネット LAN RJ-45 コネクタ



LANポート。モニターは、Marshall-usa.com で入手可能な PCSet アプリケーションを使用して Windows™ PC から操作できます。

13. タリーコネクタ



表に示すように、タリーコネクタの適切なピンを接地することで、画面上に赤、緑、黄色のタリーバーを表示できます。オープンコレクター型およびプルダウン型のGPI制御に対応しています。
注意：タリーには外部電源を供給しないでください。

Screen #1	タリー	Screen #2	タリー
1	Green Light	11	Green Light
2	Red Light	12	Red Light
3	Yellow Light	13	Yellow Light
4	Ground	14	Ground

Marshall

メニュー設定

モニターの **MENU**ノブを押すと、画面に機能メニューがポップアップ表示されます。
左または右に回してオプションを選択します。ノブをもう一度押すとサブメニューが開きます。
メニューに矢印ポインターが表示されたら、**MENU**ノブをもう一度回して項目にアクセスするか、
ノブを押して選択を確定します。

1. PICTURE

このページでは、一般的な画像調整のためのコントロールを提供します。



項　目	選択肢	
Brightness	0~100	
Contrast	0~100	
Saturation	0~100	
Tint	0~100	
Sharpness	0~100	
Color Temp.	6500K / 7500K / 9300K / *User	
Red gain 0	~128~255	*User を選択すると、これらのゲインとオフセットの調整がMENUに表示されます。
Green gain	0~128~255	
Blue gain 0	~128~255	
Red offset 0	-256-511	
Green offset	0-256-511	
Blue offset 0	-256-511	
Exit		

Brightness – 画像の適切な黒レベルを確立するために使用されます。**デフォルト値：50**

Contrast – 画像の暗い部分から明るい部分までの範囲を確立します。**デフォルト値：50**

Saturation – 画像の色情報量を設定します。**デフォルト値：50**

Tint – この機能は、コンポジットアナログ信号（NTSC、PAL）の色誤差を除去するように設計されています。コンポーネント信号およびデジタル信号の場合は、色温度/ユーザー設定を使用して適切な色調を確立することをお勧めします。色調調整は、VIDEO入力が選択されている場合にのみ使用できます。**デフォルト値：50**

Sharpness – 画像に合成的な「ディテール」を追加します。HD画像では、シャープネスの追加はほとんど必要ありません。**デフォルト値：0**

Color Temp – ここの設定では、一般的な異なる色温度に近似したホワイトバランスの3つの異なるプリセットが提供されます。 **USERは、ゲインとオフセットを必要に応じて調整することで、カスタムキャリブレーションを行うことができます。**

R/G/B Offset – 現在の色温度のR/G/Bゲインを0～255の範囲で調整します。**デフォルト値：128**

R/G/B Offset – 現在の色温度のR/G/Bオフセットを0～511の範囲で調整します。**デフォルト値：256**

2. MARKER

このページでは、画面上のさまざまなマーカーを設定するためのコントロールを提供します。



項　目	選択肢
Center marker	Off/On
Aspect marker	Off /16:9 / 1.85:1 / 2.35:1 / 4:3 / 3:2
Safety marker	Off / 95% / 93% / 90% / 88% / 85% / 80%
Marker color	Red / Green / Blue / White / Black
Grid O	ff / On
Aspect Mat.	0ff / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7
Thickness	1~7
Exit	

Center Marker – 画面の中央に “+”マ ークを表示します(カメラやグラフィックの位置を確認するのに便利です)。

Aspect Marker – 画面上に、様々な一般的なビデオや映画のアスペクト比を表す境界線を表示します。

表示アスペクト比は変更されません(アスペクト比の設定はビデオメニューにあります)。

Safety Marker – ビデオ制作時のガイドとして、画面の端に境界線を表示します。

Marker Color – センターマーカー、アスペクトマーカー、スクリーンマーカーの色を変更できます。

Grid – 画面上のグリッド線は、カメラショットのマッチングや編集時に便利です。

グリッドをオンにすると、センターマーカー、アスペクトマーカー、セーフティマーカーは表示されません。

Marker Mat – マーカーの背後の背景を暗くして視認性を高めます。グリッドをオンにすると、センターマーカー、

アスペクトマーカー、セーフティマーカーは表示されません。

Thickness – マーカーの幅を設定します。最適な視認性になるように調整してください。

メニュー設定

3. VIDEO



このページでは、画像のサイズ、位置、画像の反転、画像のフリーズ、ズームなどの関連機能をコントロールできます。

項　目	選択肢
Scan	Aspect / Pixel-To-Pixel / Zoom
Aspect	Full / 16:9 / 1.85:1 / 2.35:1 / 4:3 / 3:2
Display scan	Fullscan / Overscan / Underscan
Check field	Off / Mono / Red / Green / Blue
Zoom	X1.5 / X2 / X3 / X4
Freeze	Off / On
Image flip	Off / H / V / H&V
DSLR	Off / 5D2 / 5D3
Exit	

Scan – 各種表示方法を選択します。Aspect を選択すると、その下の項目で表示画像のアスペクト比を調整できます。

Aspect – 入力ビデオに合わせて画像のアスペクト比（形状）を変更できます。様々なビデオやシネマスタイルに合わせて設定できます。

Pix-to-pix – 入力ビデオを1:1のピクセルで一致させて表示します。最も鮮明な解像度が得られますが、通常は画像のサイズが変更されます。上下の “scaling” をオフにします。例えば、LCDディスプレイよりもピクセル数が少ないビデオ入力は縮小して表示され、ピクセル数が多いビデオ入力は拡大して表示されます。モニターのスケーリングをなくすことで、アーティファクトが発生している場所を特定するのに役立ちます。このモードがオンの場合、Aspect, Display Scan, Zoom, Markers はオフになります。

Zoom – 画像を拡大します。画像を拡大すると画質が低下するのは正常です。このモードをオンにすると、Aspect, Display Scan, Markers はオフになります。

Display Scan – 画像の表示方法を追加します。

Full scan – ディスプレイで利用可能なすべてのピクセルを使用します。入力信号のアスペクト比と一致しない場合があります。

Overscan – 画像の端が見えないように画像をわずかに拡大します。

Underscan – 画像の端が見えるように画像をわずかに縮小します。

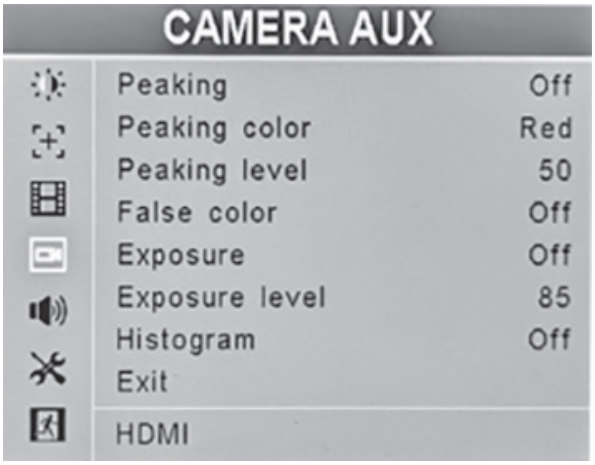
Check Field – 画像をモノクロ（白黒）または個々の原色で表示します。色分析やトラブルシューティングに役立ちます。

Freeze – 現在の画像を画面に表示したままにします。→

→**Image Flip** – 画像を上下、左右、または両方反転できます。鏡越しに撮影した画像や、カメラを逆さまに設置して撮影した画像を表示する場合に便利なツールです。

DSLR – DSLRプリセットオプションを使用すると、一般的な DSLRカメラの画面に表示されるインジケーターを目立たなくすることができます。使用可能なオプションは 5D2、5D3 です。DSLRオプションは HDMI入力を選択した場合のみ使用できます。このモードでは、アスペクト比とマーカーの設定はできません。

4. CAMERA AUX



このページでは、カメラのフォーカスを補助する設定を紹介します。

項　目	選択肢
Peaking	Off / On
Peaking color	Red / Green / Blue / White / Black
Peaking level	0-50-100
False color	Off / On
Exposure	Off / On
Exposure level	0-50-100
Histogram	Off / On
Exit	

Peaking - 画像の細部に色付きのエッジを追加することで、最もシャープにフォーカスされている部分を簡単に識別できます。これは、カメラレンズの調整時に便利なツールです。

Peaking color – ピーキングカラーは、視認性を高めるために必要に応じて変更できます。使用可能な色は、赤、緑、青、白、黒です。デフォルト色：赤

Peaking level - この設定を使用して、ユーザーの好みに合わせてエッジピーキングの量を調整します。デフォルトレベル：50

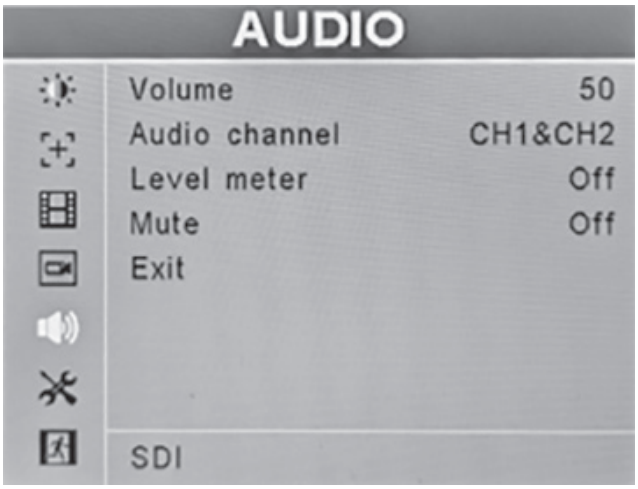
False Color - 画像の各明るさを異なる色で表示する手法です。これにより、画像の一部が明るすぎるか暗すぎるかを素早く判断できます。各色は10%のレベル変化を表します。

Exposure - 画像の最も明るい部分に “zebra” ラインを作成します。これは、放送用カメラのビューファインダーによく見られる機能を模倣したもので、露出オーバーを素早く確認できます。

Exposure level - この設定を使用して、ゼブララインの表示レベルを調整します。

Histogram - 画像内の色調分布をグラフで表したものです。これは、デジタル一眼レフカメラによく見られる機能を模倣したものです。

メニュー設定



5. AUDIO

このページは、音量の調整、オーディオチャンネルの選択、
レベルメーターの有効化、ミュートに使用します。

項　目	選択肢
Volume	0-50-100
Audio channel	CH1&CH2 / CH3&CH4 / CH5&CH6 / CH7&CH8 CH9&CH10 CH11&CH12 / CH13&CH14 / CH15&CH16
Level meter	Off / On
Mute	Off / On
Exit	

Volume – ヘッドホンの音量を調節します。メニューが画面に表示されていないときは、上下矢印キーを使って
ヘッドホンの音量を簡単に調整できます。デフォルトの音量設定：50

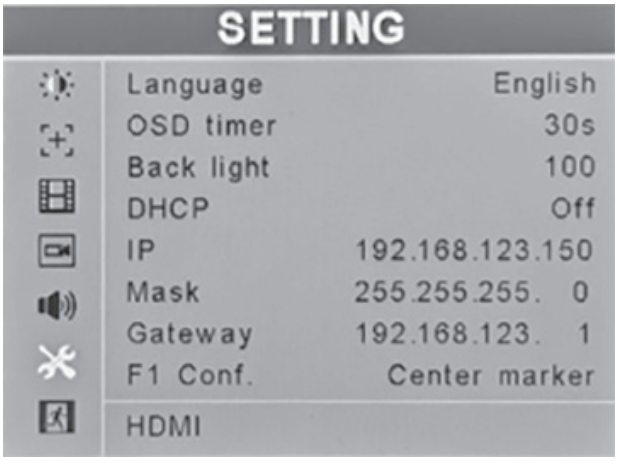
Audio channel – SDI入力の場合、チャンネルペアは1～16から選択できます。HDMI入力の場合は、
チャンネル1と2が使用されます。

Level Meter – HDMI または SDI デジタルソースからの 2つのオーディオチャンネル（通常は左右）の
音量レベルを画面上に棒グラフで表示します。

Mute – オンにするとヘッドホンのオーディオ出力が無効になります。

6. SETTING

設定ページには、オンスクリーンディスプレイ（OSD）、イーサネットポート設定（IP設定）、ショートカットキー
（F1～F4）、工場出荷時設定へのリセットなど、システムレベルの機能がまとめられています。→



項　目	選択肢
Language	English / Chinese
OSD timer	10s / 20s / 30s
Back light	0~100
DHCP	Off / On
IP	0.0.0.0
Mask	0.0.0.0
Gateway	0.0.0.0
F1 Conf.	Function configuration Select to show a list of shortcuts (F1 – F4).
F2 Conf.	
F3 Conf.	
F4 Conf.	
Reset	Off / On
Exit	

→**Language** – 画面に表示されるメッセージを 英語 または 中国語 に設定します。

OSD Timer – メニューの表示時間を調整します。

Back light – LCDバックライトの明るさを調整します。これは “Brightness” コントロールとは異なります。バックライトは、コントラストと明るさの調整に影響を与えることなく、室内の照明に合わせて調整されます。一般的に、他の画像設定を変更する前に、バックライトのレベルを設定することをお勧めします。

DHCP – DHCPの有効/無効を切り替えます。DHCPがオンの場合、モニターはネットワークから自動的にIPアドレスを取得します。取得したアドレスは、下部の IP, Mask, Gateway のフィールドに表示されます。DHCPがオフの場合、メニューノブと矢印キーを使用して手動で固定アドレスを作成できます。

IP – IPアドレスを設定または表示します。

Mask – Subnet Mask を設定または表示します。

Gateway – ゲートウェイを設定または表示します。

F1 Conf. – ショートカットキー F1 の設定です。デフォルト：Peaking

F2 Conf. – ショートカットキー F2 の設定です。デフォルト：Level Meter

F3 Conf. – ショートカットキー F3 の設定です。

F4 Conf. – ショートカットキー F4 の設定です。

Reset – すべてのメニュー項目を工場出荷時の状態に戻します。

利用可能なショートカット F1-F4		
Center marker	Scan	Peaking
Aspect marker	Aspect	False color
Grid	DSLR	Exposure
Check field	Freeze	Histogram
Display scan	Image flip	Mute
Level meter		

仕　様

パネルサイズ	2 x 7-inch screens
パネル解像度	1920 × 1200 pixels
輝度	420 cd/m^2
コントラスト	1200: 1
視野角	160° / 160°(H/V)
入力電圧	DC 12V
入力信号	HDMI, SDI, Video, Audio
消費電力	≤20W
動作温度	-10°C ~ 50°C
保管温度	-20°C ~ 60°C
寸法 幅/高さ/奥行き	19” x 5.26” x 2.1”(481.9 × 133.5 × 53.4mm)
重量	5 lbs (2.27Kg)

付属品

- DC 12V 3A 電源アダプター
  （5.5mm x 2.1mm プッシュコネクタ付き）
- タリーキット – 15ピンタリーコネクタをはんだ付け不要の端子台に接続

トラブルシューティング

1. **電源は入るが画像が出ない**
   ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
   また、製品パッケージに付属の標準電源アダプター、または適切な電圧とピン配置の他の電源アダプターを使用してください。
2. **白黒表示のみ**
   彩度と明るさが正しく設定されているか確認してください。Video メニューにアクセスし、Check Field がオフになっていることを確認してください。
3. **色が間違っている、または異常**
   ケーブルが正しく接続されているか確認してください。HDMIケーブルのピンが破損または緩んでいると、接続不良の原因となる場合があります。Camera AUX メニューページにアクセスし、Peaking がオフになっていることを確認してください。
4. **画像が画面に「固まる」**
   Video メニューページにアクセスし、IMAGE FREEZE がオフになっていることを確認してください。
5. **その他の問題の解決**
   モニターは工場出荷時の設定にリセットできます。これは、メニュー項目が誤って設定されていることが操作に影響している可能性を排除するのに役立つ場合があります。モニターをリセットするには、SETTING メニューページにアクセスし、メニューノブを押して左または右に回して Reset を選択します。ノブを一度押し、回すとユニットがリセットされます。

PCSet Remote Terminal アプリケーション

PCSet Remote Terminal は、1台のコンピューターから複数のモニターを制御できる便利なソフトウェアツールです。PCSetはWindows™ベースのコンピューター（XP以降）で動作し、デスクトップアイコンを作成して簡単にインストールできます。デスクトップアイコンをダブルクリックするだけで、コントロール画面が表示されます。PCSetはネットワーク上のモニターを検出し、それに応じてコントロール機能の表示を調整します。
現在、ML-503, ML-702, ML-702-V2, V-702, V-702-12G の各モデルで動作します。

PCSet Remote Terminal と手順はここからダウンロードしてください。
https://marshall-usa.com/software/PCSet-Remote-Terminal.zip

Marshall

保 証

Marshall ML-702-V2 は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から1年間は無償修理保証の対象となります。
この保証はご購入者様のみに適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。
シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。
この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、
変更または修正は、この保証を無効にします。
販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、
Marshall Electronicsに代わって保証期間を延長することはできません。
製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。
保証期間内でも以下の場合は有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

- 誤った使用方法や不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
- 落下などによる故障、損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

サポート窓口

Marshall
株式会社M&Inext　Marshall事業部
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2-7-10 関内フレックスビル210
ＴＥＬ：045-415-0203　ＦＡＸ：045-415-0255
ＭＡＩＬ：contact@minext.jp　ＵＲＬ：https://marshall-japan.com/

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等をすることは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作　株式会社M&Inext　　2025年6月改訂